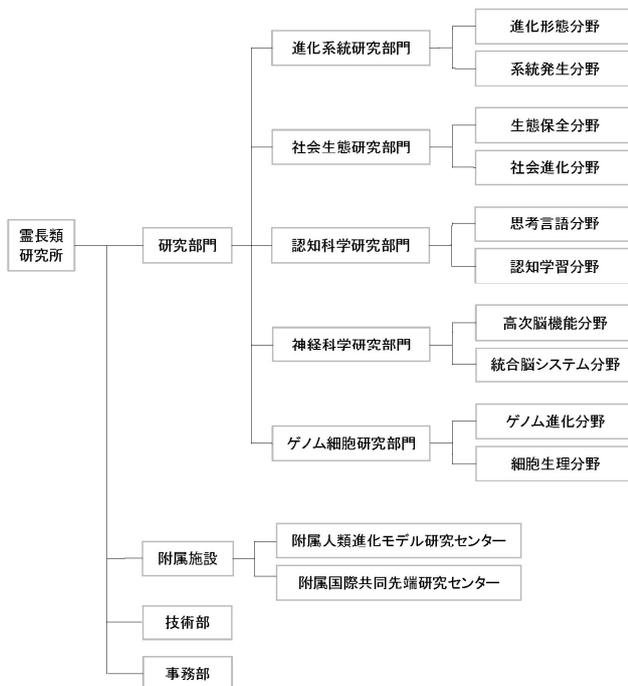


## Ⅱ. 研究所の概要

### 1. 組織

#### (1) 組織の概要(2019年3月31日現在)

霊長類研究所組織図



所長	湯本貴和	
運営委員 (順不同)	渡邊隆司	(京都大学副理事 (宇治・遠隔地キャンパス担当))
	高田昌彦	(京都大学霊長類研究所 教授)
	友永雅己	(京都大学霊長類研究所 教授)
	中務真人	(京都大学大学院理学研究科 教授)
	中川尚史	(京都大学大学院理学研究科 教授)
	伊佐正	(京都大学大学院医学研究科 教授)
	諏訪元	(東京大学総合研究博物館 教授)
	河村正二	(東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授)
	中道正之	(大阪大学大学院人間科学研究科 教授)
	高畑由起夫	(関西学院大学総合政策学部 教授)
	鍵山直子	(実験動物中央研究所 理事)
	藤田志歩	(鹿児島大学共同獣医学部 准教授)
	南部篤	(生理学研究所 教授)
	五百部裕	(椋山女学園大学人間関係学部 教授)
事務長	玉井裕之	

#### 職員の内訳

教授	准教授	助教	特定研究員	事務職員	技術職員	小計	非常勤(時間)	合計
12	10	12	9	8	8	59	91	150

#### 大学院生・研究者等の内訳

博士課程	修士課程	特別研究学生	外国人共同研究者	特別研究員(PD)	合計
29	18	1	2	2	52

## (2) 所員一覽(2019年3月31日現在)

### 進化形態分野

濱田 穰	教授
平崎 鋭矢	准教授
伊藤 毅	助教
田中 美希子	事務補佐員
若森 参	技術補佐員
Jaman Mohammad, Firoj	特別招へい教授
木下 勇貴	大学院生

### 系統発生分野

高井 正成	教授
西村 剛	准教授
江木 直子	助教
服部 美里	技術補佐員
坪内 寿美子	技術補佐員
INSANI, Halmi	大学院生
浅見 真生	大学院生

### 生態保全分野

湯本 貴和	教授
半谷 吾郎	准教授
橋本 千絵	助教
毛利 恵子	研究員
竹元 博幸	研究員
SARABIAN, Cecile Anna	大学院生
武 真祈子	大学院生
徳重 江美	大学院生
本田 剛章	大学院生
峠 明杜	大学院生
LEE, Wanyi	大学院生
HE, Tianmeng	大学院生

### 社会進化分野

古市 剛史	教授
Huffman, Michael Alan	准教授
辻 大和	助教
RIGAILL, Lucie Marie Louise	特定助教
三浦 久美	研究支援推進員
高野 かおり	技術補佐員
坂巻 哲也	研究員
横山 拓真	大学院生
戸田 和弥	大学院生
石塚 真太郎	大学院生
ALEJANDRO PASTRANA, Josue Samuel	大学院生
NAUTIYAL, Himani	大学院生
BROCHE JR., Nelson	大学院生
柴田 翔平	大学院生

### 思考言語分野

友永 雅己	教授
足立 幾磨	准教授
林 美里	助教
打越 万喜子	特定研究員
北原 愛子	特定研究員
奥村 由香利	事務補佐員
水野 名緒子	事務補佐員
大藪 陽子	技術補佐員
市野 悦子	研究支援推進員
酒井 道子	教務補佐員
荻 博文	教務補佐員
土居 哲矢	技能補佐員
高島 友子	教務補佐員
渡邊 雅史	技能補佐員
WILSON, Duncan Andrew	教務補佐員
DA SILVA MENDONCA, Renata Andreia	研究員
平田 加奈子	研究員
村松 明穂	研究員
ALLANIC, Morgane	研究員
山本 知里	特別研究員
PEREIRA COSTA, Raquel Filomena	大学院生
GAO, Jie	大学院生
川口 ゆり	大学院生
瀧山 拓哉	大学院生
Andre Goncalves	大学院生
徐 沈文	大学院生

### 認知学習分野

正高 信男	教授
後藤 幸織	准教授
香田 啓貴	助教
森田 堯	特定研究員
石田 恵子	技術補佐員
國枝 匠	技術補佐員
新谷 さとみ	技術補佐員
大洞 つかさ	技術補佐員
大野 邦久	大学院生
金子 正弘	大学院生
入口 真夕子	大学院生
Srishti Triathi	大学院生

### 高次脳機能分野

中村 克樹	教授
宮地 重弘	准教授
脇田 真清	助教
鴻池 菜保	特定助教

池田 琢朗	特定研究員
竹本 篤史	特定研究員
三輪 美樹	特定研究員
鈴木 冬華	技術補佐員
藤田 恵子	技術補佐員
正村 聡美	技術補佐員
眞下 久美子	技術補佐員
渡邊 紀子	技術補佐員
金 侑璃	大学院生
岩沖 晴彦	大学院生
櫛原 慧	大学院生

統合脳システム分野

高田 昌彦	教授
大石 高生	准教授
井上 謙一	助教
山中 創	特定研究員
後藤 有紀	事務補佐員
梅村 真理子	技術補佐員
中野 真由子	技術補佐員
木村 和宏	技術補佐員
角谷 絵里	技術補佐員
田中 江美子	技術補佐員
藤原 真紀	研究員
菊田 里美	特別研究員
小笠原 宇弥	大学院生
田辺 創思	大学院生
高田 裕生	大学院生
大塚 友紀子	大学院生
木村 慧	大学院生
UENO - NIGH, Louie Richard	大学院生
Andi ZHENG	大学院生
Jun g min OH	大学院生

ゲノム進化分野

今井 啓雄	教授
今村 公紀	助教
安武 香織	事務補佐員
梅村 美穂子	技術補佐員
谷 和女	技術補佐員
伯川 美穂	研究支援推進員
糸井川 壮大	大学院生
林 美紗	大学院生
仲井 理沙子	大学院生
岡田 佐和子	大学院生
YAN, Xiaochan	大学院生
井藤 晴香	大学院生

細胞生理分野

古賀 章彦	教授
岡本 宗裕	教授
澤村 育栄	事務補佐員
榎元 裕紀	技術補佐員
FRIAS VILLARROE, Liesbeth Martina	大学院生

附属人類進化モデル研究センター

大石 高生	センター長・准教授(併)
岡本 宗裕	教授(兼)
明里 宏文	教授
鈴木 樹理	准教授
田中 洋之	助教
宮部 貴子	助教
関 洋平	特定研究員
鷺崎 彩夏	特定研究員
森本 真弓	技術専門職員
兼子 明久	技術専門職員
前田 典彦	技術専門職員
橋本 直子	技術専門職員
愛洲 星太郎	技術職員
石上 暁代	技術職員
夏目 尊好	技術職員
山中 淳史	技術職員
阿部 恵	事務補佐員
荻野 奈美	技能補佐員
岩田 和子	技能補佐員
柴田 有華	技能補佐員
町田 聡子	技能補佐員
佐々木 敬子	技能補佐員
村田 めぐみ	教務補佐員
井上 千聡	技術補佐員
辻 薫	技術補佐員
尾辻 佑奈	技能補佐員
清水 綾子	技能補佐員
熊澤 夕里華	技能補佐員
大堀 美佳	研究支援推進員
葉栗 和枝	研究支援推進員
堀内 ゆかり	研究支援推進員
横江 実穂子	研究支援推進員
井戸 みゆき	研究支援推進員
子川 みどり	研究支援推進員
坂下 佐貴子	研究支援推進員
小幡 涼子	研究支援推進員
ゴドジャリ 静	研究支援推進員
土屋 佳代子	研究支援推進員
Caeiro, Catia Correia	特別招へい講師
GRIS, VANESSA	研究生
TAN, Wei Keat	大学院生

附属国際共同先端研究センター

湯本 貴和	センター長 (併)
MACINTOSH, Andrew James Jonathan	准教授
服部 裕子	助教
富谷 進	特定助教
檜垣 早紀	特定職員
時吉 真由美	事務補佐員
吉田 野枝	事務補佐員
CICALISE TAKESHITA, Rafaela Sayuri	研究員
KUBENOVA, Barbora	外国人特別研究員
SIGAUD Marie, Agnes	外国人特別研究員
Xu Zhihoung	大学院生

チンパンジー(林原)研究部門

友永 雅己	教授(兼)
林 美里	助教(兼)
藤澤 道子	寄附研究部門教員
川上 文人	寄附研究部門教員

ワイルドライフサイエンス(名古屋鉄道)

研究部門 (H31.6.30まで)

湯本 貴和	教授(兼)
友永 雅己	教授(兼)
林 美里	助教(兼)
早川 卓志	特定助教
中村 美穂	寄附研究部門教員

NBRP (ニホンザル)

中村 克樹	教授(兼)
宮本 陽子	特定研究員
佐野 素子	特定職員
安江 美雪	技術補佐員
大川 夏菜	技能補佐員
常川 千穂	技能補佐員
常盤 准子	技能補佐員
濱田 一郎	技能補佐員
脇田 彩未	技能補佐員
吾田 嘉彦	技能補佐員
熊谷 かつ江	教務補佐員
濱井 美弥	研究員

白眉プロジェクト

雨森 賢一	特定准教授
-------	-------

所長室

湯本 貴和	所長
大井 由里	事務補佐員

事務部 Fax:0568-63-0085

玉井 裕之	事務長
-------	-----

総務掛

藤井 純子	掛長
寺脇 大輔	事務職員
新宅 優有	事務職員(育休)
林 知佳	特定職員(産休)
大内山 清香	特定職員
石田 直也	事務補佐員
澤田 彰子	事務補佐員
松澤 美津子	事務補佐員
大重 佳美	事務補佐員
竹内 恵子	事務補佐員
宿泊棟	
馬場 ゆかり	労務補佐員
福富 美幸	労務補佐員

研究助成掛

小柳 吉邦	掛長(兼)
井上 雅義	主任
江川 美雪	事務補佐員
石井 利枝	事務補佐員
藤井 妙子	事務補佐員
図書室	
高井 一恵	主任
松波 陽子	事務補佐員

会計掛

小柳 吉邦	掛長
林 優作	主任
木邨 有純	事務補佐員
高橋 麻美	事務補佐員
多目的ホール	
日比野 恵美子	労務補佐員
松本 公恵	労務補佐員
宮地 理恵子	労務補佐員
矢野 奈生	労務補佐員

情報検索室

福富 憲司	
-------	--

(3) 大学院生

2018年度 生物科学専攻(霊長類学・野生動物系)

氏名	学年	指導教員
大野 邦久	D3	正高 信男
		脇田 真清
金子 正弘	D3	正高 信男
		脇田 真清
SARABIAN, Cecile Anna	D3	A.J.J.MACINTOSH
		湯本 貴和
		足立 幾磨

小笠原 宇弥	D3	高田 昌彦 井上 謙一 中村 克樹
金 侑璃	D3	中村 克樹 江木 直子
FRIAS VILLARROEL, Liesbeth Martina	D3	岡本 宗裕 A.J.J.MACINTOSH
INSANI, Halmi	D3	高井 正成 A.J.J.MACINTOSH
戸田 和弥	D3	古市 剛史 足立 幾磨 橋本 千絵
NAUTIYAL, Himani	D3	M.A.Huffman 田中 洋之
入口 真夕子	D3	正高 信男 脇田 真清
ALEJANDRO PASTRANA, Josue Samuel	D2	M.A.Huffman 足立 幾磨
武 真祈子	D2	湯本 貴和 江木 直子
本田 剛章	D2	半谷 吾郎 古賀 章彦
石塚 真太郎	D2	古市 剛史 今井 啓雄
PEREIRA COSTA, Raquel Filomena	D2	友永 雅己 M.A.Huffman 林 美里
GAO, Jie	D2	友永 雅己 M.A.Huffman
岩沖 晴彦	D2	中村 克樹 今村 公紀
浅見 真生	D1	高井 正成 半谷 吾郎
峠 明杜	D1	湯本 貴和 岡本 宗裕 橋本 千絵
BROCHE JR., Nelson	D1	M.A.Huffman 大石 高生
川口 ゆり	D1	友永 雅己 香田 啓貴
櫛原 慧	D1	中村 克樹 湯本 貴和
高田 裕生	D1	高田 昌彦 宮地 重弘
糸井川 壮大	D1	今井 啓雄 大石 高生
横山 拓真	D1	古市 剛史 高井 正成 橋本 千絵
Andre Goncalves	D1	友永 雅己 A.J.J.MACINTOSH

Srishti Triathi	D1	後藤 幸織 M.A.Huffman
林 美紗	D1	今井 啓雄 大石 高生
徳重 江美	M2	古市 剛史 橋本 千絵 岡本 宗裕
LEE, Wanyi	M2	半谷 吾郎 友永 雅己
HE, Tianmeng	M2	半谷 吾郎 友永 雅己
柴田 翔平	M2	古市 剛史 宮部 貴子 橋本 千絵
瀧山 拓哉	M2	友永 雅己 服部 裕子 A.J.J.MACINTOSH
大塚 友紀子	M2	高田 昌彦 中村 克樹 井上 謙一
木村 慧	M2	高田 昌彦 中村 克樹 井上 謙一
UENO - NIGT, Louie Richard	M2	高田 昌彦 中村 克樹 大石 高生
仲井 理沙子	M2	今井 啓雄 大石 高生 今村 公紀
岡田 佐和子	M2	今井 啓雄 大石 高生 今村 公紀
YAN, Xiaochan	M2	今井 啓雄 M.A.Huffman
木下 勇貴	M1	平崎 鋭矢 高井 正成
徐 沈文	M1	友永 雅己 A.J.J.MACINTOSH
Andi ZHENG	M1	高田 昌彦 中村 克樹 井上 謙一
Jungmin OH	M1	高田 昌彦 中村 克樹 大石 高生
井藤 晴香	M1	今井 啓雄 大石 高生 今村 公紀
Xu Zhihoung	M1	岡本 宗裕 A.J.J.MACINTOSH
TAN Wei Keat	M1	明里 宏文 鈴木 樹里

#### (4) 研究支援推進員

氏名	採用期間
横江 実穂子	2018年4月1日～2019年3月31日
葉栗 和枝	2018年4月1日～2019年3月31日
堀内 ゆかり	2018年4月1日～2019年3月31日
井戸 みゆき	2018年4月1日～2019年3月31日
大堀 美佳	2018年4月1日～2019年3月31日
土屋 佳代子	2018年4月1日～2019年3月31日
ゴドジャリ 静	2018年4月1日～2019年3月31日
新美 幸	2018年4月1日～2018年10月12日
伯川 美穂	2018年9月1日～2019年3月31日
三浦 久美	2018年7月1日～2019年3月31日
市野 悦子	2018年11月1日～2019年3月31日
子川 みどり	2018年11月1日～2019年3月31日
小幡 涼子	2018年11月1日～2019年3月31日
坂下 佐貴子	2018年12月1日～2019年3月31日
前川 真紀	2019年2月1日～2019年3月31日

## 2. 予算概況

### 予算概要

(金額の単位はすべて千円)

運営費交付金	人件費	488,532
	物件費	335,833
	計	824,365
外部資金	受託研究費 (7件)	189,103
	受託事業費 (4件)	19,170
	共同研究費 (4件)	30,294
	文部科学省・日本学術振興会科学研究費助成事業等 (83件)	268,604
	医療研究開発推進事業費 (3件)	85,273
	科学技術人材育成費補助金 (1件)	400
	国立大学改革強化推進補助金 (1件)	1,000
	寄附金 (12件)	48,098
	間接経費、一般管理費等	59,144
計	701,086	
合計	1,525,451	

### (1) 2018年度(平成30年度)受託研究費 内訳一覧

研究種別・委託者等	研究代表者	金額	研究課題
革新的技術による脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト (AMED)	中村 克樹	117,341,185	マーモセットの高次脳機能マップの作成とその基盤となる神経回路の解明及び参画研究者に対する支援
戦略的創造研究推進事業・さきがけ (JST)	井上 謙一	8,000,000	光操作による神経ネットワークの高解像度 5D 解析法の確立を目指した基盤技術開発
感染症実用化研究事業・エイズ対策実用化研究事業 (AMED)	明里 宏文	31,384,616	HIV 感染症の根治療法創出のための基礎・応用研究
感染症実用化研究事業・肝炎等克服実用化研究事業 (AMED)	明里 宏文	8,076,924	効果的な新規 B 型肝炎ウイルスワクチンの開発を目指した基礎的研究
感染症実用化研究事業・新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業 (AMED)	明里 宏文	3,000,000	抗 HTLV-1 ヒト免疫グロブリンによる HTLV-1 感染・発症予防法の開発に関する研究
戦略的創造研究推進事業・CREST (JST)	高田 昌彦	11,300,000	基底核ドーパミン回路の機能局在解明と機能再建：特にウイルスベクター開発
戦略的国際脳科学研究推進プログラム (AMED)	井上 謙一	10,000,000	霊長類におけるニューロン種選択的な遺伝子発現制御技術の開発
合計	7 件	189,102,725	

※金額は間接経費を除く

(2) 2018年度（平成30年度）受託事業費 内訳一覧

研究種別・委託者等	研究代表者	金額	研究課題
研究拠点形成事業－A. 先端拠点形成型－（日本学術振興会）	松沢 哲郎	14,250,000	心の起源を探る比較認知科学研究の国際連携拠点形成
二国間交流事業 共同研究（日本学術振興会）	半谷 吾郎	1,293,601	マカク属霊長類の社会構造と安定性についての比較研究
二国間交流事業 共同研究 インドネシア DG-RSTHE（日本学術振興会）	今井 啓雄	2,450,000	ゲノム・形態・行動からみたインドネシアにおけるコロブス類とスラウェシマカクの進化
二国間交流事業 共同研究（韓国む NRF）（日本学術振興会）	今井 啓雄	1,176,000	霊長類における miRNA の発現解析
	4 件	19,169,601	

※金額は業務委託手数料および間接経費を除く

(3) 2018年度（平成30年度）共同研究費 内訳一覧

研究種別・委託者等	研究代表者	金額	研究課題
共同研究（大日本住友製薬株式会社）	中村 克樹	3,659,289	霊長類を対象とした動作理解の比較研究
共同研究（田辺三菱製薬株式会社）	高田 昌彦	5,203,336	中枢神経障害後の機能再建を促進する画期的抗体治療法の開発
共同研究（日本クレア株式会社）	中村 克樹	3,718,888	コモンマーモセットの新たな飼料開発
共同研究（田辺三菱製薬株式会社）	高田 昌彦	17,712,000	新規抗体治療薬開発に関するパーキンソン病サルモデルを用いた基礎的研究
	4 件	30,293,513	

※金額は産官学連携推進経費を除く

(4) 2018年度（平成30年度）文部科学省・日本学術振興会科学研究費助成事業等 内訳一覧

研究種目	研究代表者	金額	研究課題
新学術領域研究	井上 謙一	2,700,000	神経回路の選択的可視化と操作を実現するウイルスベクターシステムの開発
新学術領域研究	高田 昌彦	7,300,000	サル脊髄損傷モデルにおける大脳運動関連領域の可塑的神経メカニズムの解明
新学術領域研究	井上 謙一	4,100,000	行動選択の回路モデル構築のための前頭前野－大脳基底核・小脳連関の構築様式の解明
新学術領域研究	中村 克樹	3,400,000	霊長類のやる気におけるドーパミン受容体系の役割の解明
新学術領域研究	友永 雅己	2,400,000	顔・身体認識理解への統合認知進化的アプローチ：「発達－文化－進化」の観点から
新学術領域研究	雨森 賢一	2,200,000	悲観的な価値判断と相関する大脳皮質一線条体における新たなベータ波
新学術領域研究	高田 昌彦	3,700,000	パーキンソン病サルモデルにおける多領域集団発振・同期現象の解析と介入
新学術領域研究	雨森 賢一	2,200,000	霊長類ドーパミン経路における価値判断を操作するスパイクパターンの同定
新学術領域研究・分担	井上 謙一 （代表・虫明 元）	5,000,000	動物モデルへの双方向性計測操作による発振現象の理解
新学術領域研究・分担	高田 昌彦 （代表・今井 浩三）	3,240,000	先端モデル動物支援プラットフォーム【H28～33】
新学術領域研究・分担	高田 昌彦 （代表・今井 浩三）	150,000	生命科学連携推進協議会【H28～33】

新学術領域研究・分担	香田 啓貴 (代表・岡ノ谷一夫)	6,900,000	言語の下位機能の生物学的実現
新学術領域研究・分担	林 美里 (代表・井原 秦雄)	917,000	言語の創発過程の人類学的研究
特別推進研究	松沢 哲郎	80,000,000	言語と利他性の霊長類的基盤
特別推進研究 (H29→30 繰越)	松沢 哲郎	7,000,000	言語と利他性の霊長類的基盤 (H29⇒H30 繰越)
基盤研究 (S)	友永 雅己	28,900,000	野生の認知科学：こころの進化とその多様性の解明のための比較認知的科学的アプローチ
基盤研究 (A) 海外	古市 剛史	6,300,000	ヒト科の集団と地域社会の役割の再考：Pan 属の集団間関係とメスの移籍の分析から
基盤研究 (A) 海外 (H29 →30 繰越)	古市 剛史	2,300,000	ヒト科の集団と地域社会の役割の再考：Pan 属の集団間関係とメスの移籍の分析から (H29⇒H30 繰越)
基盤研究 (A) 一般	高田 昌彦	9,500,000	先端的神経ネットワーク解析による霊長類大脳眼球運動制御システムの構造と機能の解明
基盤研究 (A) 海外	湯本 貴和	8,500,000	人為攪乱影響下におけるアフリカ大型類人猿の生態学的研究
基盤研究 (A) 海外 (H29 →30 繰越)	湯本 貴和	1,200,000	人為攪乱影響下におけるアフリカ大型類人猿の生態学的研究 (H29⇒H30 繰越)
基盤研究 (A)・分担	足立 幾磨 (代表・平田 聡)	400,000	チンパンジーとボノボの道具的知性と社会的知性
基盤研究 (A)・分担	香田 啓貴 (代表・川合 伸幸)	1,100,000	サルと自閉症児を対象とした援助行動の生物学的・進化的要因解明に関する実験的研究
基盤研究 (A)・分担	平崎 鋭矢 (代表・荻原 直道)	500,000	初期人類二足歩行運動の生体力学的復元
基盤研究 (A)・分担	今井 啓雄 (代表・河村 正二)	600,000	新世界と旧世界の対比による霊長類感覚生態ゲノム学の確立
基盤研究 (A)・分担	井上 謙一 (代表・藤田 一郎)	1,000,000	霊長類扁桃体への迅速な脅威信号伝達の視覚経路の解明
基盤研究 (B) 海外 (基金のみ H29→30 繰越)	橋本 千絵	700,000	生殖ホルモンの動態と性行動の分析による野生チンパンジーとボノボの繁殖戦略の研究
国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化(B))	橋本 千絵	2,800,000	ヒト科における閉経の進化：野生類人猿の老齢メスの性ホルモン動態と繁殖戦略の研究
基盤研究 (B) 一般	古賀 章彦	1,500,000	ヒトと類人猿のゲノムの大きな違い：組換え頻度に関する仮説のゲノム編集を用いた検証
基盤研究 (B) 海外	今井 啓雄	2,500,000	霊長類採食活動多様性の感覚的基盤
基盤研究 (B) 一般	西村 剛	3,800,000	霊長類の発声メカニズムの多様性とヒト発声の進化プロセスに関する医工生物学融合研究
基盤研究 (B) 一般	江木 直子	2,200,000	古第三紀東南アジアの陸棲脊椎動物相：北半球動物相の変遷にどのように寄与したか？
基盤研究 (B) 一般	半谷 吾郎	3,700,000	「普通」の生態系での植物食動物のナトリウム獲得戦略
基盤研究 (B) 一般	香田 啓貴	4,300,000	ヒト発声コミュニケーションの進化と成立：前駆体能力に関する実験的研究
補 基盤研究 (B)・分担	明里 宏文 (代表・塩田 達雄)	1,500,000	i P S細胞を利用したCD4陽性T細胞の再生医療のための基盤技術の確立
補 基盤研究 (B)・分担	半谷 吾郎 (代表・清野未恵子)	600,000	腸内細菌を用いたニホンザル農地依存度の把握と加害レベル判定手法の確立
補 基盤研究 (B)・分担	早川 卓志 (代表・清野未恵子)	500,000	腸内細菌を用いたニホンザル農地依存度の把握と加害レベル判定手法の確立
補 基盤研究 (B)・分担	友永 雅己 (代表・井村 知子)	700,000	複雑な世界における概要認知のメカニズム：発達と進化的基盤
補 基盤研究 (B)・分担	MacIntosh Andrew (代表・揚妻 直樹)	300,000	人為的攪乱が野生動物に及ぼす影響の総合評価：そのメカニズムの解明に向けて
補 基盤研究 (B)・分担	湯本 貴和 (代表・敷田 麻美)	250,000	観光地域における資源戦略のための地域資源の高度利用プロセスの研究

基盤研究 (C)	林 美里	800,000	ヒトと大型類人猿における物の操作と母子関係にみる認知発達
基盤研究 (C)	宮地 重弘	500,000	リズムに「乗る」神経メカニズムの解明
基盤研究 (C)	足立 幾磨	1,000,000	感覚間一致への比較認知科学的アプローチ
基盤研究 (C)	竹本 篤史 (年度途中の廃止)	180,129	主観的輪郭知覚に伴う神経回路ダイナミクス — 回転運動刺激を用いた検討
基盤研究 (C)	今村 公紀	1,100,000	チンパンジーiPS細胞を用いた神経発生の「ヒト化」責任遺伝子の機能的同定
基盤研究 (C)	山中 創	500,000	霊長類うつ病モデルを用いた「セロトニン1Bレセプター仮説」の検証
基盤研究 (C) 特設	井上 謙一	1,200,000	霊長類遺伝子改変モデルを利用したパーキンソン病の進行・発症機序の解明
基盤研究 (C)	竹元 博幸	1,900,000	ヒトの地上性の起源と後期中新世の気候変動
基盤研究 (C)	大石 高生	2,800,000	ムコ多糖症ニホンザルモデルの作製、維持と治療に関する基礎研究
基盤研究 (C)	脇田 真清	2,300,000	早期教育のブローカ野における音楽・行為表象への影響：子どもピアニストのブローカ野
挑戦的萌芽研究	正高 信男	500,000	社会構造における自閉症スペクトラム
挑戦的研究 (萌芽)	服部 裕子	2,000,000	音楽性の起源：類人猿を対象とした比較認知科学研究
挑戦的研究 (萌芽)	西村 剛	1,300,000	ヒト以外の哺乳類における鼻腔の生理学的機能に関するシミュレーションモデルの開発
挑戦的研究 (萌芽)	高田 昌彦	2,200,000	新規ウイルスベクターを用いた全脳的遺伝子導入技術による神経疾患モデル霊長類の開発
挑戦的研究 (萌芽)	斉藤 治美 (年度途中の学外転出)	2,300,000	嗅覚高次中枢において神経回路機構を形成する分子メカニズムの探索
挑戦的研究 (萌芽)	中村 克樹	2,100,000	霊長類での神経賦活マンガン造影 MRI 法の確立および社会行動神経ネットワークの解明
挑戦的研究 (萌芽)	古賀 章彦	2,500,000	眼の不合理的な構造の謎：視細胞内レンズの進化的起源から迫る
挑戦的研究 (萌芽)	雨森 賢一	2,400,000	社会ランクの変化を引き起こす霊長類の局所回路の同定
挑戦的研究 (萌芽)・分担	宮地 重弘 (代表・渥美 剛史)	500,000	自閉症の特異な触覚時間分解能を担う認知神経回路のモデルマウスによる解析
若手研究 (A)	MacIntosh Andrew	3,800,000	Primate and parasite community assemblages as indicators of a transitioning environment
若手研究 (B)	辻 大和	800,000	DNA バーコーディングによる種同定を利用した、熱帯林の主要な種子散布者評価の試み
若手研究 (B)	早川 卓志	1,000,000	霊長類におけるゲノム・メタゲノム相関とその進化的意義の解明
若手研究 (B)	西川 真理 (年度途中の学外転出)	500,000	薄明視という新たな視点による霊長類の3色型色覚の優位性の検証
若手研究 (B)	伊藤 毅	800,000	霊長類における交雑の進行過程とその表現型多様化への影響を探る進化生態学的研究
若手研究 (B)	橋戸(鈴木) 南美 (年度途中の学外転出)	700,000	葉食適応したコロブス亜科の味覚・解毒分子基盤の進化機構の解明
若手研究	栗原 洋介 (年度途中の学外転出)	616,400	中大型動物が枯死木分解に果たす役割：ニホンザルの昆虫食が分解速度に及ぼす影響
研究活動スタート支援	RIGAILL LUCIE	800,000	Face and lips coloration as a fertility signal in women
研究活動スタート支援	WILSON DUNCAN	1,100,000	Comparing emotional attention in humans and chimpanzees: Is the touchscreen dot probe task an effective tool?
特別研究員奨励費	SARABIAN CECILE ANNA	1,000,000	嫌悪の起源を探る：霊長類における、寄生虫・病原体回避行動の進化

特別研究員奨励費	FRIASVILLARROEL LIESBETH MARTINA	900,000	人為的攪乱環境下における宿主-寄生虫相互関係のダイナミクス
特別研究員奨励費	戸田 和弥	900,000	なぜメスが出自集団を離れるのか？ヒトとアフリカ類人猿における父系社会の進化的起源
特別研究員奨励費	山本 知里	1,000,000	ハンドウイルカにおける社会的知性に関する比較認知科学的研究
特別研究員奨励費	石塚 真太郎	900,000	Pan 属二種の地域社会構造の解明
特別研究員奨励費	MacIntosh Andrew	900,000	マカク類の感染症が宿主の行動に与える影響とそのリスク評価
特別研究員奨励費	MacIntosh Andrew	1,000,000	ニホンザルにおける乳幼児 handling および乳幼児とワカモノの社会関係の形成
特別研究員奨励費	MacIntosh Andrew	700,000	環境圧力、社会性、健康における関連性の理解
特別研究員奨励費	MacIntosh Andrew	900,000	生息環境の悪化が絶滅の危機に瀕した霊長類におよぼす影響評価
特別研究員奨励費	菊田 里美	1,200,000	進行性パーキンソン病モデルサルを用いた、病態進行に伴う脳内状態変化の経時的解析
特別研究員奨励費	田辺 創思	1,000,000	先端的神経ネットワーク解析手法による大脳皮質-大脳基底核ループの構築様式の解明
特別研究員奨励費	川口 ゆり	1,000,000	「赤ちゃんらしさ」の認知の進化に関する比較認知科学的研究
特別研究員奨励費	GAO JIE	1,000,000	チンパンジーにおける身体の知覚に関する比較認知科学的研究
特別研究員奨励費	糸井川 壮大	1,000,000	ジェントルキツネザルのタケ食適応過程における味覚受容体進化機構の解明
外国人研究者招へい 事業調査研究費	脇田真清 Dieter Hillert	150,000	シンクタスの進化：サルからヒトのことばへ
	83 件	268,603,529	

※金額は間接経費を除く

#### (5) 2018 年度（平成 30 年度）医療研究開発推進事業費補助金 内訳一覧

研究種別	研究代表者	金額	研究課題
ナショナルバイオリソースプロジェクト (NBRP ニホンザル)	中村 克樹	84,072,236	ライフサイエンス研究用ニホンザルの飼育・繁殖・供給 (大型飼育施設でのニホンザルの繁殖・育成事業)
ナショナルバイオリソースプロジェクト (GAIN)	松沢 哲郎	9,800,000	情報発信体制の整備とプロジェクトの総合的推進 (大型類人猿情報ネットワークの展開)
ナショナルバイオリソースプロジェクト (NBRP 基盤技術整備プログラム)	中村 克樹	2,400,000	ニホンザルバイオリソースにおける B ウイルス検査法の開発
	3 件	85,272,728	

※直接経費のみ

#### (6) 2018 年度（平成 30 年度）科学技術人材育成費補助金 内訳一覧

研究種別	研究代表者	金額	研究課題
スタートアップ研究費	伊藤 毅	400,000	科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業
	1 件	400,000	

※直接経費のみ

(7) 2018 年度（平成 30 年度）国立大学改革強化推進補助金 内訳一覧

研究種別	研究代表者	金額	研究課題
京大流経営改革の推進	古市 剛史	1,000,000	On-Site Laboratory
	1 件	1,000,000	

※直接経費のみ

(8) 2018 年度（平成 30 年度）寄附金 内訳一覧

寄附金名称等	研究代表者	金額	寄附の目的
寄附研究部門	湯本 貴和	38,800,000	ワイルドライフサイエンス（名古屋鉄道）研究部門
公益財団法人 日本科学協会 平成 30 年度笹川科学研究助成	伊藤 毅	580,000	ニホンザルの系統集団史と頭蓋形態の地理的多様化プロセスを探る集団ゲノミクス研究
（公財）山階鳥類研究所 平成 30 年度 山階武彦助成事業	辻 大和	250,000	インドネシア・西ジャワ州のヒョケザルの保全に向けた基礎研究
（公財）京都大学教育研究振興財団 平成 30 年度助成事業研究活動推進助成	古市 剛史	1,000,000	「霊長類の地域社会の遺伝学的構造：父系社会と母系社会の比較研究」
（公財）京都大学教育研究振興財団 平成 30 年度助成事業研究活動推進助成	Michael Huffman	1,000,000	「Making a long tail short: Allen's rule in Sri Lankan toque macaques, environmental adaptation or the road to speciation」
（公財）京都大学教育研究振興財団 平成 30 年度助成事業研究活動推進助成	田中 洋之	730,000	「ニホンザル心疾患への多面的アプローチ：心筋線維化メカニズムの解明」
（公財）京都大学教育研究振興財団 平成 30 年度助成事業研究活動推進助成	井上 謙一	1,000,000	「運動学習に関わる大脳皮質－大脳基底核ループ回路の構造と機能」
（公財）京都大学教育研究振興財団 平成 30 年度助成事業研究活動推進助成	宮部貴子	300,000	研究集会名「世界獣医麻醉会議」
（公財）京都大学教育研究振興財団 平成 30 年度助成事業研究活動推進助成	坂巻哲也	300,000	研究集会名「第 27 回国際霊長類学会大会」
2018/2019 Franklin Mosher Baldwin Fellowship (LEAKEY 財団)	Michael HUFFMAN (Himani Nautiyal)	1,637,248	「大学院生 Himani Nautiyal の人類進化に関する教育研究支援」
一般社団法人日本ペット栄養学会 2018 年度研究奨励金	石上暁代	500,000	コモンマーモセットにおける健康指標としての血中必須微量元素濃度の有効性の検討に関する研究
公益財団法人テルモ生命科学芸術財団 2018 年度 III. 研究助成金	今井啓雄	2,000,000	体内味覚受容体を用いた食欲増進と健康寿命延伸への貢献
	12 件	48,097,248	

※寄附金額は全学経費（2%）および部局管理経費（3%）を控除した金額

3. 図書

霊長類学の研究成果を網羅する方針で図書を収集しています。特に霊長類学関連論文の別刷は 85,000 点に達し、『霊長類学別刷コレクション』として閲覧に供しています。書籍については全所員からの推薦を受け付け、選定の参考にしています。

(1) 蔵書数

2019 年 3 月末現在、本研究所図書室に所蔵されている資料は、以下の通りです。

和書：10,006 冊（製本雑誌も含む）

洋書：18,742 冊（製本雑誌も含む）  
和雑誌・中国雑誌（紀要類も含む）：895 誌  
洋雑誌（紀要類も含む）：535 誌  
霊長類学関連別刷（霊長類学別刷コレクション）：約 85,000 点

## (2) 資料の所蔵検索

図書室で所蔵している図書・雑誌はすべて【京都大学蔵書検索 KULINE】で検索できます。

【京都大学蔵書検索 KULINE】にアクセスし、[詳細検索]の[所蔵館]で[霊長研]を選択すると、霊長類研究所の蔵書のみヒットします。

詳しくは京都大学図書館機構のホームページをご覧ください。

<https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/>

霊長類学関連別刷（霊長類学別刷コレクション）は【霊長類学文献索引データベース】で検索できます。

霊長類研究所ホームページから【霊長類学文献索引データベース】にアクセスしてください。

<http://www.pri.kyoto-u.ac.jp/cgi-bin/library/books.cgi>

## (3) 霊長類研究所図書室利用規程

### I. 開室時間及び休室日

1. 開室時間は、平日 9 時から 17 時までとする。
2. 休室日は、次の各号に掲げるとおりとする。
  - (1) 土曜日及び日曜日
  - (2) 国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日
  - (3) 12 月 29 日から翌年の 1 月 3 日まで
  - (4) 本学創立記念日（6 月 18 日）
  - (5) 8 月第 3 週の月曜日、火曜日及び水曜日（夏季一斉休業日）
3. その他の臨時休室は、その都度掲示する。

### II. 閲覧

1. 閲覧の資格を有する者は、次の各号に掲げるものとする。
  - (1) 本研究所の所員
  - (2) 本研究所の共同利用研究員
  - (3) (1) 及び(2) 以外の京都大学に所属する者であって、当該者の所属部局の図書施設又は附属図書館の紹介のあるもの
  - (4) 学外者であって、当該者の所属機関の紹介状又は本研究所所員の紹介状を本研究所所長に提出したもの
  - (5) その他一般利用者
2. 1 の(1)から(4)までに該当する者は、書庫又は閲覧室にて資料を閲覧することができる。
3. 1 の(5)に該当する者は、蔵書目録により閲覧しようとする資料をあらかじめ特定し、当該資料名及び当該氏名を学外者利用簿に記入のうえ、図書室職員から当該資料の提供を受けるものとし、当該資料の閲覧は、本研究所所長が指定する場所で行わなければならない。
4. 本研究所所長は、次の各号の一に該当する場合は、それぞれ当該各号に掲げるものの閲覧を制限することができる。
  - (1) 資料に独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律（平成 13 年法律第 140 号。以下「情報公開法」という。）第 5 条第 1 号、第 2 号及び第 4 号イに掲げる情報が記録されていると認められる場合 当該資料（当該情報が記録されている部分に限る。）
  - (2) 資料の全部又は一部を一定の期間公にしないことを条件に個人又は情報公開法第 5 条第 2 号に規定する法人等から寄贈又は寄託を受けている場合（当該期間が経過するまでの間に限る。） 当該資料
  - (3) 原本を利用させることにより当該原本の破損又は汚損を生じるおそれがある場合 当該原本

### III. 貸出及び返却

1. II の 1 の(1)又は(2)に該当する者は、下記に従い資料を借用できる。ただし、(2)に該当する者が借用を希望する場合には、所内対応者の承諾を得た上で、あらかじめ利用者カードを本研究所所長に提出し

なければならない。

1) 借用資料の種類及び借用方法は、以下のとおりとする。

a. 単行本

(i) 単行本は、1ヵ月間借用できる。

(ii) 借用時には、ブックカード及び代本板用紙に必要事項を記入する。ブックカードは所定の箱に入れ、代本板用紙は代本板の背に挿入して、書架上の借用する本のあった位置に置く。

(iii) 借用後は、返却台に返却する。

b. 製本雑誌

(i) 製本雑誌は、3日間借用できる。

(ii) 借用方法は、単行本に準じる。

(iii) 借用後は、返却台に返却する。

c. 未製本雑誌

(i) 未製本の雑誌は、15時から翌朝10時までの間に限り借用できる。

(ii) 借用時には、貸出カードに必要事項を記入する。

(iii) 借用後は、返却台に返却する。

d. 別刷

(i) 別刷は、開室時間中の図書室内での利用に限る。

(ii) 利用後は、返却台の箱に返却する。

e. 他機関からの借用資料

(i) 他機関の所蔵する資料の利用を希望するときは、図書室を通じて借用を申し込むことができる。

(ii) 他機関からの借用資料は、開室時間中の図書室内での利用に限る。

(iii) 利用後は、図書室職員に返却する。

2) 参考図書その他禁帯出扱いの資料は貸し出さない。

3) 借用資料は、原則として所外に持ち出すことはできない。

4) 借用中の資料を転貸してはならない。

5) 再手続をすることにより貸出期限の延長ができる。ただし、他に借用希望者がいるときは、当該借用希望者を優先する。

2. IIの1の(3)に該当する者は、所属部局の図書施設又は附属図書館を通じて借用を依頼することができる。

1) 借用資料は単行本に限る。

2) 貸出期限は2週間とするが、本研究所員から当該資料利用の要請があった場合には、貸出期限内であっても、速やかに返却するものとする。

#### IV. 総点検及び長期貸出

1. 定期的に資料の総点検を行う。資料の総点検を行うに当たって図書室職員から現物確認の要請があった場合、資料の貸出を受けている者は、貸出期限にかかわらず、当該資料を一旦返却しなければならない。

2. 総点検期間中、図書室を休室とすることがある。

3. 図書委員会により研究室等への備付けが認められたときは、長期貸出扱いとする。長期貸出扱いの資料は、長期貸出扱いとなった年度の翌年度から毎年度1回現物確認を行い、現物確認の際に長期貸出扱いの更新を行う。

#### V. 個人情報漏えい防止のために必要な措置

1. 図書室は、図書室資料に個人情報（京都大学における個人情報の保護に関する規程（平成17年達示第1号）第2条第1項に規定するものをいう。）が記録されている場合には、当該個人情報の漏えいの防止のため、次の各号に掲げる措置を講じるものとする。

(1) 書庫の施錠その他の物理的な接触の制限

(2) 図書室資料に記録されている個人情報に対する不正アクセス（不正アクセス行為の禁止等に関する法律（平成11年法律第128号）第2条第4項に規定する不正アクセス行為をいう。）を防止するために必要な措置

(3) 図書室の職員に対する教育・研修の実施

(4) その他当該個人情報の漏えいの防止のために必要な措置

## VI. その他

1. 図書室資料の目録及びこの図書室利用規程については、常時図書室に備え付ける。
2. 資料を紛失又は汚損した場合は、代本又は相当の代金で補わなければならない。
3. 借用資料を貸出期限までに返却しなかった場合、以後の貸出を一定期間停止することがある。
4. 図書室内（書庫を含む。）は禁煙とする。

附 則

この規程は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

#### 4. サル類飼育頭数・動態

2018年度（平成30年度）末 飼育頭数

種 名	頭 数
コモンマーモセット	147
ワタボウシタマリン	5
ヨザル	6
フサオマキザル	4
ケナガクモザル	1
ニホンザル	377
ニホンザル(NBRP) *	409
アカゲザル	206
タイワンザル	1
カニクイザル	11
マントヒヒ	2
アジルテナガザル	3
チンパンジー	12
<b>合 計</b>	<b>1184</b>

\* NBRP（「ニホンザル」バイオリソース）プロジェクトで飼育しているもの

#### 2018年度（平成30年度）サル類動態表

区 分 種 名	増 加			減 少（死亡など）											増 減	
	出 産	導 入	小 計	安 楽 殺 (実験による)	安 楽 殺 (その他)	事 故 死	外 傷 死	呼 吸 器 系 疾 患	消 化 器 系 疾 患	感 染 症	泌 尿 器	衰 弱	剖 検 不 能 そ の 他	所 外 供 給		小 計
コモンマーモセット	35	5	40	7	3	1		2	2			1	6	4	26	14
ニホンザル	35		35	20	2	1			2			3	5	9	42	-7
ニホンザル (NBRP)	60		60	2				2	7			3	7	42	63	-3
アカゲザル	10		10	30	2		1		2			1	4	8	48	-38
タイワンザル			0					1							1	-1
ヨザル			0										1	4	5	-5
フサオマキザル			0	1											1	-1
ワタボウシタマリン			0						1					1	2	-2
<b>合 計</b>	<b>140</b>	<b>5</b>	<b>145</b>	<b>60</b>	<b>7</b>	<b>2</b>	<b>1</b>	<b>5</b>	<b>14</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>8</b>	<b>23</b>	<b>68</b>	<b>188</b>	<b>-43</b>

## 5. 資料

霊長類研究所が所蔵する資試料は、骨格標本、液浸標本、分子生物学用試料、獣医学的臓器標本、CT 画像、化石模型などからなり、所外の研究者にも公開され、国内外の多くの研究者の研究推進に大きく貢献している。資料委員会では、これらの資試料の充実のために、毎年 400 点以上の新たな各種資試料の受け入れと作製を行っている。また、所蔵資試料はデータベースで管理しており、各種生物学的試資料については由来個体ごとにまとめられている。多様な研究ニーズに応えられる利用環境の整備を行っている。

### (1) 骨格標本(表 1、2)

霊長類の骨格標本は 10,000 点を超える(表 1)。特にニホンザルの標本は 4,200 点近くを数え、世界最大規模のコレクションである。霊長類以外にも、約 2,000 点の獣骨標本を所蔵している(表 2)。特に、日本産タヌキやテン、ツキノワグマの標本は豊富で、貴重な資料である。標本は、官林及び栗栖地区の標本室に保管されている。標本の各種情報は、標本データベース PRISK(霊長類)もしくは PRISK-Z(霊長類以外)で検索できる。

### (2) 液浸・冷凍標本(表 1、3)

霊長類のホルマリンもしくはアルコールで固定された液浸標本や冷凍標本は約 1,200 点である(表 1)。霊長類以外の標本も約 230 点ある(表 3)。筋系標本の割合が高いが、脳や臓器の標本も含む。このように大規模な液浸・冷凍標本コレクションは世界的に見ても稀有である。標本は、本棟地階及び栗栖地区の液浸資料室に保管されている。標本の所蔵場所や各種情報は、PRISK および PRISK-Z で検索できる。

### (3) 分子生物学用試料(表 4)

霊長類の分子生物学用試料は、約 490 個体分 3900 点あまりを保管している。それらは、大型類人猿ネットワーク(GAIN)の情報を通じて動物園等から譲渡を受けた類人猿の臓器試料や、所内飼育の旧世界ザルや新世界ザルなどの臓器試料で、RNAlater 処理等をして冷凍保管されている。試料の保管状況や各種情報は、試料データベース PRIGEN で検索することができる。また、保管試料の一部は、九州大学有体物管理センター(<http://mmc-u.jp>)のデータベースでも公開している。

### (4) 獣医学的臓器標本

霊長類の獣医学的臓器標本は、本研究所飼育の霊長類個体由来の臓器標本や、外部機関から譲渡を受けた標本からなる。チンパンジー 36 個体 375 点の標本をデータベース PRIVET で公開した。その他の標本の保管状況や各種情報は、人類進化モデル研究センターに問い合わせれば、知ることができる。

### (5) CT 画像

霊長類の CT 画像データが 77 種 1300 点あまり、霊長類以外のものが 55 種 130 点あまりある。所蔵標本の CT 画像データ化を進めるとともに、動物園等の協力を得て、所外資料の CT 画像データも収集している。それら画像データは、Web 上のデータベース Digital Morphology Museum (DMM, <http://www.pri.kyoto-u.ac.jp/dmm/archive>)に登録されており、インターネットを介して利用することができる。

### (6) 化石模型

化石模型は、人類および中新世ホミノイドを中心に約 500 点を所蔵している。模型は、新棟 4 階骨格資料室および展示室で保管、展示されている。化石模型の各種情報は、データベース PRICAST で検索することができる。

### (7) 利用方法とお願い

骨格・液浸標本の利用手続きは、非破壊的な使用の場合は簡便である。破壊・破損をとまなう利用や貸し出しや資料譲渡も、資料委員会の審査を経た上で可能な場合もある。分子生物学用試料は、譲渡契約等の関係から、原則として共同利用・共同研究採択課題に限って譲渡提供している。各種標本の博物館等の展示などへの貸し出しも行っている。資試料の利用希望者は、まずは、資料委員会もしくは、関係する所員に問い合わせてください。資試料には動物園など学外機関から譲渡された貴重なものも含まれるので、利用規約や契約等の遵

守と提供機関に対する利用報告等への協力をお願いします。  
(連絡先：資料委員会 pri-shiryō[at] mail2.adm.kyoto-u.ac.jp)

## 2018年度(平成30年度)所蔵資試料

表1 霊長類骨格および液浸・冷凍標本

和名	学名	骨格	液冷
<b>ホミノイド</b>	<b>Hominoidea</b>	<b>126</b>	<b>118</b>
テナガザル科	Hylobatidae spp.	66	52
チンパンジー属	<i>Pan troglodytes</i>	48	55
ゴリラ属	<i>Gorilla gorilla</i>	8	4
オランウータン属	<i>Pongo pygmaeus</i>	4	7
<b>旧世界ザル</b>	<b>Cercopithecoidea</b>	<b>8171</b>	<b>664</b>
マカク属	<i>Macaca</i> spp.	6428	507
コノハザル属	<i>Presbytis</i> spp.	168	1
ハヌマンラングール属	<i>Semnopithecus</i> spp.	4	4
ラングール属	<i>Trachypithecus</i> spp.	15	22
コロブス属	<i>Colobus</i> spp.	366	11
メンタワイシシバナザル属	<i>Simias concolor</i>	132	0
テングザル属	<i>Nasalis larvatus</i>	0	1
グエノン属	<i>Cercopithecus</i> spp.	577	71
パタス属	<i>Erythrocebus patas</i>	20	5
マンガベイ属	<i>Cerocebus</i> spp.	16	5
ゲラダヒヒ属	<i>Theropithecus gelada</i>	4	4
ヒヒ属	<i>Papio</i> spp.	419	29
マンドリル属	<i>Mandrillus</i> spp.	20	3
コロブス亜科属不明	Colobinae indet.	0	1
旧世界ザル属不明	Cercopithecoidea indet.	2	0
<b>新世界ザル</b>	<b>Ceboidea</b>	<b>1693</b>	<b>289</b>
リスザル属	<i>Saimiri sciureus</i>	1031	71
ヨザル属	<i>Aotus trivirgatus</i>	65	23
ティティ属	<i>Callicebus</i> spp.	52	3
ホエザル属	<i>Alouatta</i> spp.	60	4
クモザル属	<i>Ateles</i> spp.	16	12
ウーリークモザル属	<i>Brachyteles</i> spp.	3	0
ウーリーモンキー属	<i>Lagothrix</i> spp.	19	2
オマキザル属	<i>Cebus</i> spp.	102	34
サキ属	<i>Pithecia</i> spp.	24	2
ウアカリ属	<i>Cacajao calvus</i>	1	0
ゲルディモンキー属	<i>Callimico goeldi</i>	1	0
ピグミーマーマセット属	<i>Cebuella pygmaeus</i>	9	10
マーマセット属	<i>Callithrix</i> spp.	177	65
タマリン属	<i>Saguinus</i> spp.	121	62
ライオンタマリン属	<i>Leontopithecus rosalia</i>	6	0
マーマセット科属不明	Callitrichidae indet.	0	1
新世界ザル属不明	Ceboidea indet.	6	0
<b>メガネザル科</b>	<b>Tarsiidae spp.</b>	<b>1</b>	<b>1</b>
<b>曲鼻猿類</b>	<b>Strepsirrhini</b>	<b>62</b>	<b>112</b>
キツネザル属	<i>Lemur</i> spp.	18	14
エリマキキツネザル属	<i>Varecia</i> spp.	4	4
ネズミキツネザル属	<i>Microcebus</i> spp.	0	1
イタチキツネザル属	<i>Lepilemur mustelinus</i>	1	0
シファカ属	<i>Propithecus verreauxi</i>	2	0
スローリス属	<i>Nycticebus</i> spp.	16	24
ポッター属	<i>Perodicticus</i> spp.	1	1
ホソリス属	<i>Loris</i> spp.	2	3
ガラゴ属	<i>Galago</i> spp.	18	46

ガラゴ科不明	Galagidae indet.	0	1
キツネザル上科属不明	Lemuroidea indet.	0	6
曲鼻猿類属不明	Strepsirrhini indet.	0	3
<b>種不明</b>	<b>Unidentifiable</b>	<b>0</b>	<b>9</b>
<b>総計</b>	<b>Total</b>	<b>10053</b>	<b>1184</b>

表2 霊長類以外の骨格標本

和名[目・科]	Taxa [order/genus]	標本数
<b>食肉目</b>	<b>Carnivora</b>	<b>1073</b>
レッサーパーンダ科(1) <i>Ailurus</i> ; イヌ科(560) <i>Canis</i> , <i>Nyctereutes</i> , <i>Vulpes</i> ; イタチ科(238) <i>Martes</i> , <i>Meles</i> , <i>Mustela</i> , <i>Pteronura</i> ; アシカ科(31) <i>Callorhinus</i> , <i>Eumetopias</i> , <i>Zalophus</i> ; アザラシ科(5) <i>Phoca</i> ; アライグマ科(8) <i>Procyon</i> ; クマ科(143) <i>Helarctos</i> , <i>Melursus</i> , <i>Ursus</i> ; ネコ科(53) <i>Caracal</i> , <i>Felis</i> , <i>Leptailurus</i> , <i>Neofelis</i> , <i>Panthera</i> , <i>Prionailurus</i> , <i>Puma</i> ; マングース科(5) <i>Crossarchus</i> , <i>Ichneumia</i> , <i>Mungos</i> , <i>Suricata</i> ; ジャコウネコ科(27) <i>Artictis</i> , <i>Paguma</i> , <i>Viverra</i>		
<b>奇蹄目</b>	<b>Perissodactyla</b>	<b>12</b>
ウマ科(10) <i>Equus</i> ; バク科(2) <i>Tapirus</i>		
<b>鯨偶蹄目</b>	<b>Cetartiodactyla</b>	<b>469</b>
イノシシ科(352) <i>Sus</i> ; ペッカリー科(3) <i>Pecari</i> ; ウシ科(53) <i>Ammotragus</i> , <i>Antelope</i> , <i>Bos</i> , <i>Buvalus</i> , <i>Capra</i> , <i>Capricornis</i> , <i>Cephalophus</i> , <i>Ovis</i> ; キリン科(1) <i>Giraffa</i> ; シカ科(47) <i>Cervus</i> , <i>Hydropotes</i> , <i>Muntiacus</i> ; マイルカ科(10) <i>Tursiops</i> , <i>Delphinidae</i> indet.; 科不明/Family indet. (3)		
<b>ツパイ目</b>	<b>Scandentia</b>	<b>51</b>
ツパイ科(51) <i>Tupaia</i> , <i>Lyncogale</i>		
<b>トガリネズミ目</b>	<b>Soricomorpha</b>	<b>50</b>
トガリネズミ科(39) <i>Crociodura</i> , <i>Suncus</i> ; モグラ科(12) <i>Euscaptor</i> , <i>Mogera</i> , <i>Urotrichus</i>		
<b>翼手目</b>	<b>Chiroptera</b>	<b>9</b>
オオコウモリ科(5) <i>Pteropus</i> , <i>Rousettus</i> ; キクガシラコウモリ科(1) <i>Rhinolophus</i> ; ヒナコウモリ科(1) <i>Pipistrellus</i> ; 科不明 / Microchiroptera Family indet. (2)		
<b>皮翼目</b>	<b>Dermoptera</b>	<b>2</b>
ヒヨケザル科(2) <i>Galeopterus</i>		
<b>齧歯目</b>	<b>Rodentia</b>	<b>165</b>
ヤマネ科(1) <i>Glirulus</i> ; リス科(65) <i>Callosciurus</i> , <i>Cynomys</i> , <i>Tamias</i> , <i>Petaurista</i> , <i>Peteromys</i> , <i>Sciurus</i> , <i>Spermophilus</i> ; トビネズミ科(1) <i>Allactaga</i> ; ネズミ科(73) <i>Apodemus</i> , <i>Cricetomys</i> , <i>Diplothrix</i> , <i>Microtus</i> , <i>Mus</i> , <i>Myodes</i> , <i>Rattus</i> ; バカ科(3) <i>Cuninculus</i> ; テンジクネズミ科(9) <i>Cavia</i> , <i>Dolichotis</i> ; オマキヤマアラシ科(1) <i>Coendou</i> ; カピバラ科(1) <i>Hydrochoerus</i> ; ヤマアラシ科(2) <i>Atherurus</i> , <i>Hystrix</i> ; スートリア科(6) <i>Myocastor</i> ; 科不明/Hystricognathi Family indet. (3)		
<b>ウサギ目</b>	<b>Lagomorpha</b>	<b>33</b>
ウサギ科(30) <i>Lepus</i> , <i>Oryctolagus</i> , genus indet.; ナキウサギ科(3) <i>Ochotona</i>		
<b>異節目</b>	<b>Xenarthra</b>	<b>4</b>
フタコビナマケモノ科(2) <i>Choloepus</i> ; オオアリクイ科(1) <i>Tamandua</i> ; アルマジロ科(1) genus indet.		
<b>アフリカトガリネズミ目</b>	<b>Afrosoricida</b>	<b>1</b>
テンレック科(1) <i>Echinops</i>		
<b>岩狸目</b>	<b>Hyracoidea</b>	<b>1</b>
イワダヌキ科(1) <i>Procavia</i>		
<b>長鼻目</b>	<b>Proboscidea</b>	<b>2</b>
ゾウ科(2) <i>Elephas</i> , <i>Loxodonta</i>		
<b>有袋目</b>	<b>Marsupialia</b>	<b>16</b>

オボッサム科(3) <i>Didelphis</i> ; カンガルー科(7) <i>Macropus</i> , genus indet.; フクロモモンガ科(1) <i>Petaurista</i> ; クスクス科(4) <i>Phalanger</i> , <i>Trichosurus</i> ; ウォンバット科(1) <i>Vombatus</i>		
<b>哺乳類・計</b>	<b>Mammalia total</b>	<b>1889</b>
<b>鳥類</b>	<b>Aves</b>	<b>84</b>
Accipitriformes [タカ類] (3) <i>Butastur</i> , <i>Milvus</i> ; Anseriformes [カモ類] (6) <i>Aix</i> , <i>Anas</i> , <i>Anser</i> , <i>Tadoma</i> ; Ciconiiformes [コウノトリ類] (1) <i>Ciconia</i> ; Columbiformes [ハト類] (8) <i>Columba</i> , <i>Streptopelia</i> , <i>Teron</i> ; Falconiformes [ハヤブサ類] (1) <i>Falco</i> ; Galliformes [キジ類] (30) <i>Bambusicola</i> , <i>Gallus</i> , <i>Lophophorus</i> , <i>Lophura</i> , <i>Pavo</i> , <i>Phasianus</i> , <i>Polyplectron</i> ; Gruiformes [ツル類] (1) <i>Gallinula</i> ; Passeriformes [スズメ類] (20) <i>Corvus</i> , <i>Carduelis</i> , <i>Coccothraustes</i> , <i>Passer</i> , <i>Strunus</i> , <i>Turdus</i> , <i>Zoothera</i> ; Percaniformes [ペリカン類] (7) <i>Ardea</i> , <i>Nycticorax</i> , <i>Phalacrocorax</i> ; Phoenicopteriformes [フラミンゴ類] (5) <i>Phoenicopterus</i> ; Piciformes (1) [キツツキ類] <i>Dendrocopos</i> ; Psittaciformes [オウム類] (1) <i>Cacatua</i>		
<b>爬虫類</b>	<b>Reptilia</b>	<b>44</b>
<b>有鱗目</b>	<b>Squamata</b>	<b>35</b>
Chamaeleonidae [カメレオン類] (5) <i>Chamaeleo</i> ; Gekkonidae [ヤモリ類] (5) <i>Gekko</i> ; Helodermatidae [ドクトカゲ類] (1) <i>Heloderma</i> ; Iguanidae [イグアナ類] (2) <i>Anolis</i> ; Scincidae [トカゲ類] (2) <i>Corucia</i> ; Varanidae [オオトカゲ類] (1) <i>Varanus</i> ; Xenosauridae [コブトカゲ類] (3) <i>Shinisaurus</i> ; Boidae [ボア類] (3) <i>Eunectes</i> ; Colubridae [ナミヘビ類] (6) <i>Elaphe</i> ; Pythonidae [ニシキヘビ類] (3) <i>Morelia</i> , <i>Python</i> ; Viperidae [クサリヘビ類] (3) <i>Gloydus</i> ;		
<b>カメ目</b>	<b>Testudinines</b>	<b>7</b>
Cheloniidae [ウミガメ類] (3) <i>Caretta</i> , <i>Chelonia</i> ; Geomyidae [イシガメ科] (1) <i>Cuora</i> ; Pelomedusidae [ヨコクビガメ類] (1) <i>Podocnemis</i> ; Testudinidae [リクガメ類] (1) <i>Pyxis</i> ; Trionychidae [スッポン類] (1) <i>Lissemys</i>		
<b>ワニ目</b>	<b>Crocodylia</b>	<b>2</b>
Alligatoridae [アリゲーター類] (2) <i>Alligator</i> , Caimaninae indet		
<b>両生類</b>	<b>Amphibia</b>	<b>12</b>
<b>有尾目</b>	<b>Caudata</b>	<b>2</b>
Ambystomatidae [トラフサンショウウオ科] (1) <i>Ambystoma</i> ; Salamandroidae [イモリ類] (1) <i>Tylototriton</i>		
<b>無尾目</b>	<b>Anura</b>	<b>10</b>
Bufonidae [ヒキガエル類] (2) <i>Bufo</i> , <i>Rhinella</i> ; Dendrobatidae [ヤドクガエル類] (1) <i>Phyllobates</i> ; Hylidae [アマガエル類] (2) <i>Phyllomedusa</i> ; Megophryidae [コノハガエル類] (3) <i>Megophrys</i> ; Ranidae [アマガエル類] (1) <i>Rana</i> ; Rhacophoridae [アオガエル類] (1) <i>Theلودerma</i>		
<b>魚類</b>	<b>Pisces</b>	<b>2</b>
Perciformes [スズキ類] (2) <i>Lateolabrax</i> , <i>Pagrus</i>		
<b>総計</b>	<b>Total</b>	<b>2031</b>

表3 霊長類以外の液浸標本

和名[目・科]	Taxa [order/genus]	標本数
<b>食肉目</b>	<b>Carnivora</b>	<b>69</b>
レッサーパンダ科(1) <i>Ailurus</i> ; イヌ科(4) <i>Canis</i> , <i>Urocyon</i> ; イタチ科(34) <i>Aonyx</i> , <i>Lutra</i> , <i>Martes</i> , <i>Mustela</i> ; アシカ科(1) Otariidae indet.; クマ科(10) <i>Ursus</i> ; ネコ科(3) <i>Felis</i> ; ジャコウネコ科(4) <i>Artictis</i> , <i>Paguma</i> ; 科不明/Family indet.(12)		
<b>偶蹄目</b>	<b>Artiodactyla</b>	<b>2</b>
ウシ科(2) <i>Capricornis</i>		
<b>ツパイ目</b>	<b>Scandentia</b>	<b>21</b>
ツパイ科(21) <i>Tupaia</i>		
<b>トガリネズミ目</b>	<b>Soricomorpha</b>	<b>11</b>
トガリネズミ科(8) <i>Sorex</i> , <i>Suncus</i> ; モグラ科(3) <i>Mogera</i> , <i>Urotrichus</i>		
<b>翼手目</b>	<b>Chiroptera</b>	<b>4</b>
オオコウモリ科(4) <i>Rousettus</i>		
<b>齧歯目</b>	<b>Rodentia</b>	<b>113</b>
リス科(2) <i>Cynomys</i> , Sciuridae indet.; ネズミ科(110) <i>Clethrionomys</i> , <i>Rattus</i>		
<b>ウサギ目</b>	<b>Lagomorpha</b>	<b>1</b>
ウサギ科(1) Leporidae indet.		
<b>アフリカトガリネズミ目</b>	<b>Afrosoricida</b>	<b>1</b>
テンレック科(1) Tenrecidae indet.		
<b>有袋目</b>	<b>Marsupialia</b>	<b>10</b>
カンガルー科(2) <i>Thylogale</i> , Macropodidae indet.; フクロネコ科(1) <i>Sarcophilus</i> ; フクロモモンガ科(3) <i>Petaurus</i> ; クスクス科(3) <i>Trichosurus</i> ; リングテイル科 (1) <i>Pseudocheirus</i>		
<b>哺乳類・計</b>	<b>Mammalia total</b>	<b>232</b>
<b>鳥類</b>	<b>Aves (1)</b>	<b>Galliformes - Gallus [ニワトリ]</b>
<b>爬虫類</b>	<b>Reptilia (1)</b>	<b>有鱗目 Lacertidae - Tachydromus [カナヘビ]</b>
<b>総計</b>	<b>Total</b>	<b>234</b>

表4 霊長類分子生物学用試料

和名	学名	個体数
<b>ホミノイド</b>	<b>Hominoidea</b>	<b>183</b>
チンパンジー	<i>Pan troglodytes</i>	126
ボノボ	<i>Pan paniscus</i>	1
ゴリラ	<i>Gorilla gorilla</i>	9
オランウータン属	<i>Pongo sp.</i>	11
テナガザル属	<i>Hylobates sp.</i>	21
フクロテナガザル	<i>Symphalangus syndactylus</i>	15
<b>旧世界ザル</b>	<b>Cercopithecoidea</b>	<b>229</b>
マカク属	<i>Macaca spp.</i>	224
サバンナモンキー属	<i>Cercopithecus sp.</i>	4
マントヒヒ	<i>Papio hamadryas</i>	1
<b>新世界ザル</b>	<b>Ceboidea</b>	<b>76</b>
マーモセット属	<i>Callithrix sp.</i>	52
タマリン属	<i>Saguinus oedipus</i>	4
リスザル属	<i>Saimiri sciureus</i>	2
フサオマキザル	<i>Cebus capulinus</i>	2
ヨザル属	<i>Aotus trivirgatus</i>	16

## 6. 人事異動

所属分野等	職名	異動		内容	備考
		氏名	年月日		
	所長	湯本 貴和	H30.4.1	再任	任期は H32.3.31 まで
	副所長	高田 昌彦	H30.4.1	併任	任期は H31.3.31 まで
ゲノム進化分野	教授	今井 啓雄	H30.4.1	昇進	ゲノム進化分野・准教授より

## 7. 海外渡航

### (1) 教職員

所属	氏名	期間	目的国	目的
進化形態	濱田穰	2018/4/3～4/9	タイ・中国	研究連絡
系統発生	高井正成	2018/4/12～4/19	アメリカ	American Association of Physical Anthropologists 参加・発表及び資料収集、研究連絡
系統発生	西村剛	2018/4/14～4/26	ポーランド	Evolang12 参加・発表・資料収集
統合脳システム	高田昌彦	2018/5/14～5/21	スペイン	共同研究実験、研究連絡、情報収集
白眉センター	雨森賢一	2018/5/6～5/23	アメリカ	共同研究
進化形態	濱田穰	2018/5/9～5/31	タイ・ミャンマー	野外調査、研究連絡、資料整理
細胞生理	古賀章彦	2018/5/23～5/30	オーストラリア	共同研究実験・解析
統合脳システム	高田昌彦	2018/5/24～5/30	ノルウェー	施設見学、情報収集、研究連絡
統合脳システム	井上謙一	2018/5/25～5/30	ノルウェー	研究連絡、情報収集
生態保全	湯本貴和	2018/6/1～6/5	マレーシア	野外調査・資料収集
進化形態	濱田穰	2018/6/9～6/16	タイ	生態調査、データ整理
認知学習	後藤幸織	2018/6/15～6/21	オーストリア	CINP2018 World Congress 参加・情報収集
系統発生	高井正成	2018/6/16～6/25	ミャンマー	化石発掘調査・観察
チンパンジー (林原)	藤沢道子	2018/6/17～7/30	ギニア	生態調査・資料収集、研究連絡
社会進化	古市剛史	2018/6/28～7/29	コンゴ民主共和国	野外調査・資料収集、研究連絡
系統発生	高井正成	2018/7/19～7/24	ミャンマー	研ゆう連絡、化石標本観察
生態保全	橋本千絵	2018/7/22～8/27	ウガンダ・ケニア	生態調査・資料収集、研究連絡、第27回国際霊長類学会参加
社会進化	辻大和	2018/7/29～8/16	インドネシア	野外調査、研究連絡
ゲノム進化	今井啓雄	2018/8/8～8/11	韓国	第59回国際生命科学国際シンポジウム参加・発表・情報収集、研究連絡
社会進化	辻大和	2018/8/17～8/28	ケニア	第27回国際霊長類学会参加・発表・情報収集、施設見学
高次脳機能	中村克樹	2018/8/18～8/26	ケニア	第27回国際霊長類学会参加・情報収集
思考言語	林美里	2018/8/18～8/27	ケニア	第27回国際霊長類学会参加・発表・情報収集
認知学習	後藤幸織	2018/8/18～8/24	中国	研究連絡
社会進化	古市剛史	2018/8/18～9/20	ケニア・ウガンダ	第27回国際霊長類学会参加・発表・情報収集、生態調査
細胞生理	岡本宗裕	2018/8/20～8/24	韓国	国際寄生虫学会参加・発表・情報収集
ゲノム進化	今村公紀	2018/8/21～8/24	韓国	73rd Annual Conference of KAOBS 参加・情報収集
進化形態	濱田穰	2018/8/28～9/9	タイ	野外調査、データ整理

社会進化	MA Huffman	2018/8/29~9/16	スリランカ	研究連絡、情報収集、野外調査、iCMA2018 国際学会参加
人類センター	田中洋之	2018/9/3~9/15	スリランカ	野外調査・資料収集、研究連絡、共同実験
思考言語	足立幾磨	2018/9/5~9/9	オーストリア	ワークショップ参加
系統発生	西村剛	2018/9/5~9/10	オーストリア	研究連絡、ワークショップ参加
認知学習	香田啓貴	2018/9/5~9/12	オーストリア	研究連絡、ワークショップ参加
ゲノム進化	今村公紀	2018/9/16~9/20	韓国	国際学会 KSMCB2018 参加・発表・情報収集
人類センター	宮部貴子	2018/9/24~9/29	イタリア	第13回世界獣医麻酔会議参加・発表・情報収集
統合脳システム	井上謙一	2018/9/25~9/28	フランス	ViMaMo conference 参加・発表・情報収集
国際センター	A MacIntosh	2018/9/28~10/5	マレーシア	試料採取・データ収集
人類センター	明里宏文	2018/10/2~10/7	アメリカ	The 36th Annual Symposium on Nonhuman Primate Models for AIDS 参加・発表・情報収集
高次脳機能	中村克樹	2018/10/3~10/10	ドイツ	シンポジウム参加・発表・情報収集、施設見学
高次脳機能	石上暁代	2018/10/3~10/10	ドイツ	シンポジウム参加・発表・情報収集、施設見学
社会進化	L Rigail	2018/10/11~10/26	フランス	the French Primatology Congress 参加、研究連絡、情報収集
進化形態	濱田穰	2018/10/17~10/23	タイ・中国	研究連絡、APS & APCS 2018 参加・発表・情報収集
系統発生	高井正成	2018/10/17~10/22	中国	国際シンポジウム参加・情報収集
社会進化	辻大和	2018/10/19~10/21	中国	APS & APCS 2018 参加・発表・情報収集
社会進化	MA Huffman	2018/10/20~11/11	イタリア	研究連絡、ワークショップ参加・資料収集
高次脳機能	中村克樹	2018/10/28~11/10	アメリカ	Neuroscience2018 参加・情報収集、施設見学
統合脳システム	高田昌彦	2018/11/2~11/9	アメリカ	Neuroscience2018 参加・情報収集、研究連絡
進化形態	濱田穰	2018/11/2~11/11	タイ	シンポジウム参加・発表・情報収集、研究連絡
白眉センター	雨森賢一	2018/11/2~11/21	アメリカ	Neuroscience2018 参加・情報収集、共同研究
人類センター	兼子明久	2018/11/3~11/8	タイ	シンポジウム参加・発表・情報収集、研究連絡
統合脳システム	大石高生	2018/11/3~11/8	タイ	シンポジウム参加・発表・情報収集、施設見学
細胞生理	岡本宗裕	2018/11/3~11/8	タイ	シンポジウム参加・発表・情報収集、研究連絡
人類センター	田中洋之	2018/11/17~11/29	スリランカ	PWS 履修生への研究指導
社会進化	MA Huffman	2018/11/17~11/29	スリランカ	PWS 履修生への研究指導
生態保全	湯本貴和	2018/11/17~11/29	スリランカ	PWS 履修生への研究指導
生態保全	半谷吾郎	2018/11/18~11/24	中国	共同実験
系統発生	高井正成	2018/11/21~12/2	ミャンマー	化石標本整理
統合脳システム	高田昌彦	2018/11/22~11/29	スペイン	研究連絡、情報収集
統合脳システム	井上謙一	2018/11/24~12/1	スペイン・ドイツ	研究連絡、セミナー参加・発表・情報収集
細胞生理	古賀章彦	2018/11/28~12/1	韓国	遺伝学と医学に関する国際会議参加・発表・情報収集

高次脳機能	中村克樹	2018/12/2~12/7	キューバ	BRAINMODES 会議参加・発表、国際神経技術研究院日本ディ参加
系統発生	西村剛	2018/12/9~12/16	フランス	研究連絡
統合脳システム	井上謙一	2018/12/12~12/20	アメリカ	ワークショップ参加・発表・情報収集、研究連絡
社会進化	古市剛史	2018/12/16~ 2019/1/13	ウガンダ	野外調査、研究連絡
思考言語	林美里	2018/12/16~12/20	マレーシア	行動観察、研究連絡
社会進化	MA Huffman	2018/12/22~12/30	台湾	野外調査、セミナー参加・情報収集
生態保全	半谷吾郎	2019/1/8~1/11	タイ	資料収集
認知学習	香田啓貴	2019/1/10~1/31	タイ	野外調査、研究連絡
人類センター	愛洲星太郎	2019/1/13~1/19	タイ	研究連絡、資料収集
人類センター	前田典彦	2019/1/13~1/19	タイ	研究連絡、資料収集
進化形態	濱田穰	2019/1/24~2/9	タイ	野外調査、調査データ整理、研究連絡
系統発生	江木直子	2019/2/21~3/8	ミャンマー	化石発掘調査・観察
系統発生	高井正成	2019/2/21~3/3	ミャンマー	化石発掘調査・観察
人類センター	田中洋之	2019/3/8~3/25	スリランカ	行動観察、サンプル採集、研究連絡
社会進化	MA Huffman	2019/3/8~3/25	スリランカ	行動観察、サンプル採集、研究連絡
生態保全	橋本千絵	2019/3/16~4/2	ウガンダ	生態調査・研究連絡
社会進化	古市剛史	2019/3/17~4/1	ウガンダ	研究連絡、施設見学
白眉センター	雨森賢一	2019/3/20~3/24	ドイツ	AMED-DFG workshop in Tuebingen 参加・情報収集
統合脳システム	井上謙一	2019/3/20~3/24	ドイツ	AMED-DFG workshop in Tuebingen 参加・情報収集
進化形態	濱田穰	2019/3/21~3/27	ベトナム・タイ	野外調査、研究連絡
社会進化	辻大和	2019/3/25~3/29	インド	研究連絡
統合脳システム	高田昌彦	2019/3/26~3/31	ポルトガル	The 14th International Conference on Alzheimer's & Parkinson's Diseases 参加・情報収集

## (2) 大学院生

所属	氏名	期間	目的国	目的
社会進化	戸田和弥	2018/2/4~7/7	コンゴ民主共和国	PWS 自主 FW 実習
生態保全	C Sarabian	2018/2/9~7/7	コンゴ民主共和国	野外調査、研究連絡
思考言語	川口ゆり	2018/4/3~4/12	アメリカ	The 25th International Conference On Comparative Cognition 参加・発表・情報収集
思考言語	J Gao	2018/4/3~4/10	アメリカ	The 25th International Conference On Comparative Cognition 参加・発表・情報収集
細胞生理	L Frias	2018/4/19~4/28	マレーシア	セミナー参加・情報収集
生態保全	峠明社	2018/5/9~5/22	ウガンダ	PWS 自主 FW 実習
社会進化	H Nautiyal	2018/5/18~12/29	インド・ケニア・フランス・ドイツ	PWS 自主 FW 実習、第 27 回国際霊長類学会参加・情報収集、施設見学

思考言語	R Costa	2018/5/19～8/27	ウガンダ・ケニア	PWS 自主 FW 実習、第 27 回国際霊長類学会参加・発表・情報収集
細胞生理	L Frias	2018/5/21～5/30	マレーシア	セミナー参加・情報収集、研究連絡
社会進化	横山拓真	2018/6/29～12/19	コンゴ民主共和国	野外調査・資料収集
細胞生理	L Frias	2018/6/29～7/7	マレーシア	ASSOCIATION FOR TROPICAL BIOLOGY AND CONSERVATION2018 参加・発表・情報収集
系統発生	H Insani	2018/7/20～7/28	中国	データ収集
系統発生	浅見真生	2018/7/28～8/5	中国	標本観察
社会進化	豊田有	2018/7/16～8/25	タイ	野外調査・試料収集
ゲノム進化	Y Xiaochan	2018/8/5～8/12	インドネシア	PWS 自主 FW 実習
系統発生	H Insani	2018/8/16～8/30	ケニア	第 27 回国際霊長類学会参加・発表・情報収集
生態保全	峠明杜	2018/8/17～8/31	ケニア	第 27 回国際霊長類学会参加・発表・情報収集
社会進化	JSA Pastrana	2018/8/17～8/29	ケニア	第 27 回国際霊長類学会参加・発表・情報収集、野外観察
思考言語	J Gao	2018/8/17～8/27	ケニア	第 27 回国際霊長類学会参加・発表・情報収集
社会進化	石塚真太郎	2018/8/17～8/29	ケニア	第 27 回国際霊長類学会参加・発表・情報収集、野外観察
ゲノム進化	Y Xiaochan	2018/8/17～8/27	ケニア	第 27 回国際霊長類学会参加・発表・情報収集
社会進化	戸田和弥	2018/8/17～8/28	ケニア	第 27 回国際霊長類学会参加・発表・情報収集、野外観察
生態保全	C Sarabian	2018/8/17～9/3	ケニア	第 27 回国際霊長類学会参加・情報収集
細胞生理	L Frias	2018/8/18～8/24	韓国	国際寄生虫学会参加・発表・情報収集
思考言語	川口ゆり	2018/9/1～9/10	オランダ・オーストリア	PWS 自主 FW 実習、The 5th European Student Conference on Behaviour & Cognition 参加・情報収集
思考言語	徐沈文	2018/9/1～9/10	オランダ・オーストリア	PWS 自主 FW 実習、The 5th European Student Conference on Behaviour & Cognition 参加・情報収集
生態保全	峠明杜	2018/9/5～12/5	ウガンダ	PWS 自主 FW 実習
社会進化	豊田有	2018/9/12～9/23	タイ	野外調査・試料収集
思考言語	徐沈文	2018/9/12～9/21	タンザニア	PWS 自主 FW 実習
ゲノム進化	岡田佐和子	2018/9/16～9/20	韓国	国際学会 KSMCB2018 参加・発表・情報収集
ゲノム進化	井藤晴香	2018/9/16～9/20	韓国	国際学会 KSMCB2018 参加・発表・情報収集
ゲノム進化	仲井理沙子	2018/9/16～9/20	韓国	国際学会 KSMCB2018 参加・発表・情報収集
系統発生	H Insani	2018/9/23～10/1	ベトナム	第 21 回 IPPA 学会参加・発表・情報収集、研究連絡
認知学習	入口真由子	2018/9/24～10/1	ポルトガル	国際色彩学会 2018 参加・発表・情報収集
思考言語	J Gao	2018/10/2～10/23	中国	APS & APCS 2018 参加・発表・情報収集
社会進化	柴田翔平	2018/10/14～10/21	マレーシア	ワークショップ参加・資料収集、野外調査

高次脳機能	岩沖晴彦	2018/11/1～11/10	アメリカ	Neuroscience2018 参加・発表・情報収集
ゲノム進化	糸井川壮大	2018/11/2～12/24	マダガスカル	野外調査、研究連絡
統合脳システム	高田裕生	2018/11/3～11/8	アメリカ	Neuroscience2018 参加・発表・情報収集
高次脳機能	樋原慧	2018/11/3～11/10	アメリカ	Neuroscience2018 参加・発表・情報収集
思考言語	J Gao	2018/11/17～11/29	スリランカ	ITP2018 field program 参加
ゲノム進化	Y Xiaochan	2018/11/17～11/29	スリランカ	ITP2018 field program 参加
社会進化	B Nelson	2018/11/17～11/29	スリランカ	ITP2018 field program 参加
生態保全	武真祈子	2018/11/17～ 2019/9/12	ブラジル	野外観察・データ収集・研究連絡
社会進化	戸田和弥	2018/12/17～ 2019/3/30	コンゴ民主共和国	PWS 自主 FW 実習
生態保全	峠明杜	2018/12/11～ 2019/3/12	ウガンダ	PWS 自主 FW 実習
思考言語	川口ゆり	2018/12/16～12/20	マレーシア	野外調査
系統発生	浅見真生	2019/1/13～2/2	アメリカ	標本観察
国際センター	Z Xu	2019/2/3～3/17	中国	試料解析
系統発生	浅見真生	2019/2/23～3/8	ミャンマー	化石発掘調査・観察
社会進化	柴田翔平	2019/3/6～5/30	ウガンダ	PWS 自主 FW 実習
社会進化	石塚真太郎	2019/3/6～4/6	ウガンダ	野外観察、情報収集
社会進化	B Nelson	2019/3/18～3/29	アメリカ・プエルトリコ	研究連絡、情報収集
社会進化	JSA Pastrana	2019/3/18～3/29	アメリカ・プエルトリコ	研究連絡、情報収集
生態保全	峠明杜	2019/3/18～6/17	ウガンダ	PWS 自主 FW 実習

### (3) 教務補佐員・技能補佐員・技術補佐員・事務補佐員

所属	氏名	期間	目的国	目的
思考言語	市野悦子	2018/9/12～9/21	タンザニア	行動観察、資料収集
思考言語	D Wilson	2018/11/13～11/24	英国	Primate Welfare Meeting2018 参加・情報収集、研究連絡

### (4) 研究員

所属	氏名	期間	目的国	目的
思考言語	R Mendonca	2018/4/7～9/20	ポルトガル	生態調査・資料収集
社会進化	坂巻哲也	2018/4/8～10/2	コンゴ民主共和国・ケニア	野外調査、研究連絡、第27回国際霊長類学会参加・発表・情報収集
思考言語	M Allanic	2018/4/10～11/15	フランス・ギニア・ケニア	ユネスコプログラム参加・情報収集、第27回国際霊長類学会大会参加・発表・資料収集
思考言語	綿貫宏史朗	2018/5/2～5/10	台湾	The 13th Asian Reproductive Biotechnology Congress 参加・発表・情報収集
生態保全	竹元博幸	2018/5/18～11/13	ウガンダ・ケニア	野外調査、研究連絡、第27回国際霊長類学会参加・発表・情報収集
思考言語	綿貫宏史朗	2018/5/13～5/15	中国	情報収集
思考言語	打越万喜子	2018/8/18～8/29	ケニア・ウガンダ	第27回国際霊長類学会参加・情報収集、生態調査

人類センター	鷺崎彩夏	2018/10/2～10/7	アメリカ	The 36th Annual Symposium on Nonhuman Primate Models for AIDS 参加・発表・情報収集
進化形態	若森参	2018/10/19～10/24	中国	第6回アジア霊長類シンポジウム参加・発表・情報収集
社会進化	坂巻哲也	2018/10/31～ 2019/3/30	コンゴ民主共和国	野外調査、研究連絡、調査データ分析
統合脳システム	山中創	2018/11/2～11/9	アメリカ	Neuroscience2018 参加・発表・情報収集
思考言語	R Mendonca	2018/11/4～11/20	ポルトガル	野外調査、研究連絡、ワークショップ参加・資料収集
思考言語	綿貫宏史朗	2018/11/22～11/25	中国	情報収集
思考言語	R Mendonca	2018/12/9～ 2019/2/20	フランス・ポルトガル	ワークショップ参加・発表・資料収集、研究連絡、
生態保全	竹元博幸	2018/12/10～ 2019/3/30	コンゴ民主共和国	野外調査、試料収集、研究連絡
思考言語	打越万喜子	2018/12/16～12/23	マレーシア	行動観察、研究連絡
国際センター	RSC Takeshita	2019/1/15～2/14	ブラジル	研究連絡、共同実験

#### (5) 学振特別研究員 (PD) ・外国人特別研究員

所属	氏名	期間	目的国	目的
国際センター	V Romano	2018/6/16～7/1	フランス・英国	研究連絡
統合脳システム	菊田里美	2018/7/14～7/18	韓国	シンポジウム参加・情報収集、研究連絡
国際センター	B Kubenova	2018/10/19～12/2	チェコ	研究連絡、The 45th Conference of Czech and Slovak Ethological Society 参加・情報収集
国際センター	M Sigaud	2019/1/27～2/5	インドネシア	研究連絡
国際センター	B Kubenova	2019/2/12～3/8	ドイツ・チェコ	国際学会参加・情報収集、研究連絡

## 8. 非常勤講師

(霊) 岡ノ谷 一夫 (東京大学大学院総合文化研究科・教授)

「コミュニケーション行動の進化と神経機構」2018年11月28日

(理) 長谷川 英祐 (北海道大学・准教授)

「生物の適応進化と生物多様性をどのように理解するか」2018年10月11日～10月12日

(理) 菊水 健史 (麻布大学・教授)

「社会内分泌学」2018年10月29日～10月30日

(理) 三中 信宏 (国立研究開発法人農研機構・ユニット長)

「生物統計学」2018年11月22日

## 9. リサーチ・アシスタント (R・A)

(氏名：採用期間)

入口 真夕子 : 2018.5.1～2019.3.31

武 真祈子 : 2018.5.1～2019.3.31

豊田 有 : 2018.5.1～2018.6.30、2018.8.16～2018.9.30

## 10. ティーチング・アシスタント (T・A)

(氏名：採用期間)

### 一般 TA

浅見 真生 : 2018.8.16～2018.12.31

岩沖 晴彦 : 2018.8.16～2018.12.31

OH, Jungmin : 2018.8.16～2018.12.31

木下 勇貴 : 2018.8.16～2018.12.31

柴田 翔平 : 2018.9.1～2018.12.31

ZHENG, Andi : 2018.8.16～2018.12.31

林 美紗 : 2018.8.16～2018.12.31

YAN, Xiaochan : 2018.9.1～2018.12.31

糸井川 壮大 : 2018.9.16～2018.10.31

川口 ゆり : 2018.10.1～2018.10.31

高田 裕生 : 2018.11.1～2018.11.30

### 国際センターTA

ALEJANDORO PASTRANA, Josue Samuel

: 2018.4.1～2018.9.30、2018.10.16～2019.3.31

BEJINHA GONCALVES, Andre

: 2018.10.16～2019.3.31

### ILAS セミナーTA

糸井川 壮大 : 2018.5.1～2018.6.30

入口 真夕子 : 2018.8.16～2018.9.30

岡田 佐和子 : 2018.5.1～2018.5.31

仲井 理沙子 : 2018.5.1～2018.5.31

### 全学共通科目 TA

瀧山 拓哉 : 2018.7.1～2018.7.31

ZHENG, Andi : 2019.2.16～2019.2.28

## 11. 年間スケジュール

### 2018年

4月2日	新入生オリエンテーション
4月19日	新入所員歓迎会
6月18日	本学創立記念日
7月28-29日	犬山公開講座「サルに学ぶ」
7月31日-8月1日	大学院修士課程入学試験
10月10日	サル慰霊祭
10月24日	運営委員会
10月28日	市民公開日

## 2019年

1月18日	博士論文発表会
1月21日	修士論文発表会
2月13日	大学院博士後期課程編入学試験
2月19-20日	オープンキャンパス
3月20日	運営委員会